

2020.07.31「第1学期終業式式辞」

7月31日（金）に行った令和2年度第1学期終業式は、放送にて行いました。その時に、お話しさせていただいた式辞について掲載いたします。

令和2年度 千葉県立市原高等学校 第1学期終業式式辞

おはようございます。

皆さんの顔を見ながらお話ができないのは残念ですが、少しの時間耳を傾けて聴いてくれたらうれしいです。

今学期は、新型コロナウイルス感染症予防のために、今までに経験したことがないような長期にわたる休業、分散登校、短縮日課を経て、学校は通常日課となりました。たくさんの行事が中止となったり、部活動ができない期間が長かったり、感染予防対策をとりながらの我慢を強いられた学校生活だったと思います。でも、そのおかげで「君」たちみんなと学校で会えること、「君」たちみんなと学校生活を送ることができることのありがたさを感じることができました。感染への不安や恐怖、注意しなければならないことはありますが、見方を変えれば、友達と過ごせる生活は制約があるとはいえ、当たり前ではなく、皆さんが行っている日頃の感染症予防対策はもちろんですが、家族や先生方の支えなどいろいろな条件がそろって初めて成り立つものなのだと再認識できるきっかけとなったのではないのでしょうか。

今日この日を迎えるにあたり、先生方は、皆さんの目に見えるところや見えないうところで、少しでも安心・安全な学校生活を取り戻すための様々な工夫と準備を最大限してくれました。今も、2学期の行事に向けて、感染予防を意識しながら様々な角度から工夫と計画をさせていただいています。先生方の取組は、ホームページ上で見ることができます。私も校長だよりをとおして、先生方の取組を紹介しています。他の学校には見られない先生方の君たちみんなへの温かい・熱い思いが詰まったホームページだと感じてくれたらうれしいです。

さて、今日は皆さんに1つ言葉を紹介したいと思います。

江戸時代末期の儒学者（今でいうと政治や道徳についての研究者）佐藤 一斎の言葉です。

「一燈（いっとう）を提（さ）げて暗夜（あんや）を行く。暗夜を憂（うれ）うること勿（なか）れ、只（ただ）一燈を頼め」（言志四録）

現代風に解釈すると、「一つの灯（あか）りを提げて暗い夜道を行くとき、その暗い夜道を憂えても仕方がない。我々ができることは、今、手にしているそのたった一つの灯りを信じて、ただひたすら前に進むしかない。」となります。

もう少しわかりやすくこの言葉が表す意味をとらえてみましょう。

「世の中には、人の気持ちを『明るくする人』と、反対に『暗くする人』がいます。『明るくする人』は、どんな困難な状態（暗夜・今でいうとコロナ禍[か]）にあってもその中から、希望や、未来、元気になることなど、よくなりそうなことを探し出す人です。反対に、『暗くする人』は、困難な状態の中から、絶望や、落胆、憂鬱（ゆううつ）など、ダメになりそうなことを探し出す人となります。人の気持ちを明るくする人には、笑顔があります。闇夜に一燈を灯す人でありたい。」という意味です。

コロナウイルス感染者が再び増加している今、君たちみんなには、「暗闇に一燈を灯す人」になってもらいたいと思います。そのために、この夏休みの間に、未来や希望につながることを探し出し、あるいは突き詰めて、明るく前向きな状態でいられるように自分の心と上手に向き合い、具体的な一歩を踏み出してください。踏み出すためのヒントは、学年主任・担任・副担任・学年の先生方・進路の先生方からもうすでにもらっていることに気が付いていますか。

3年生の皆さん、具体的な一歩を踏み出すためのヒントは、進学説明会・就職説明会・面接指導・三者面談等で、進路指導部の先生方からいただいた資料や説明、担任の先生方からいただいた助言の中にあります。資料を読み直したり、いただいた助言を思い出しながら、卒業後の自分のあるべき姿に向けて、今やらなければならないことをしっかり行ってください。

2年生の皆さん、先日の体育館で行われた総合学習「地域について学ぼう2学年編」で、坂井美晃先生が講師となり話された、今年3月に卒業した先輩たちの進路状況、就職先地域の現状を覚えていますか。LHRの時間に、担任の先生方から活用の仕方について説明があった「令和2年度進路の資料集」に掲載されている先輩たちが就職した企業についてネットや進路指導室にある資料で調べてみましょう。また、合格体験記をもう一度読み直してみましょう。さらに、1年後の進路選択のために、新聞を読んだり、ニュース見たり、今話題の本などを積極的に読み、社会の情勢を理解するとともに、自分磨きをしてください。

1年生の皆さん、先日体育館で行われた学年集会で、学年の先生方一人一人から、皆さんに向けられたメッセージを覚えていますか。先生方からのメッセージをしっかりと受けとめ、この夏休みに、実際に取り組んでください。できれば、9月にメッセージを発信した先生に、実際に取り組んだ内容を報告してみてください。

近日、学年主任の宗島先生が先生方のメッセージを学年だよりにまとめて、HPに掲載していただきますので、今一度、よく読んでください。

話が長くなりましたが、夏休みもコロナウイルス感染症予防対策をしっかりと行い、元気な姿で9月に再会できることを楽しみにしています。